

ナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ分布調査報告

- ・日時/2020年8月5日(水) 9時00分～11時20分
 - ・集合/手賀沼親水広場第2駐車場
 - ・出港・帰港/我孫子手賀沼漁協棧橋
 - ・場所/手賀沼 大堀川河口部の北側(根戸新田交差点南側)
 - ・みずすまし号/県立中央博: 林紀男氏、千葉県水質保全課: 大島班長、小田上副主幹、
ヤンマー関連会社(ハーベスター駆除の担当者): 山本氏、石橋氏
美手連6人
船運行/古川船長、渋谷助手(アルバトロスヨットクラブ)
 - ・ヨットクラブ動力船/美手連・アルバトロスヨットクラブ(目黒、楠、片瀬、丸山)
 - ・報告/小倉久子
- ※この調査は手賀沼流域フォーラム調査事業の一環で、コンバー試験駆除見学の同日に行ったものです。

<調査地点図>



① 若松第5樋管



ここにはヒメガマが残る。

② 若松第4樋管



よく見ると、オオバナの黄色い花が点々と見える。

③



オオバナがよく生長している。ヒメガマの根元にナガエらしいものも見える。

④ 若松第3樋管の沖合



ヨシ植生帯の隙間からはみ出すように増え続けるナガエ・オオバナ。

⑤



こちらは、まだナガエだけのようだ。

⑥



植生帯の間の水路は完全に閉塞してしまった。

⑦ 若松第2樋管



このあたりのナガエ・オオバナ群落の成長はほとんど拡大していない。

⑧ 手賀沼公園東側



ここも「入江」の入口までしか成長していない。
出っ張った部分は流されてしまうのだろうか。



この入江の中は一見オオバナ優勢だが、よく
見るとナガエも健闘している。
水際線にはオオバナの浮葉が目立つ。

⑨ 柏土木棧橋



この群落は、黄緑色のナガエも互角である。



ここは 2017 年 11 月に駆除した場所だ
が、3 年弱で元以上に戻ってしまった。
駆除後にはオオバナ割合が大きく増加。

⑩ 我孫子新田西側地先



ナガエ（黄緑色）とオオバナ（濃い緑色）
が半々くらいでブチになっている。



奥のヨシ帯に侵入するように、オオバナ（黄色い花が見える）が帯状に広がる。

⑪ 根戸新田地先



この群落では、ナガエとオオバナの熾烈な争いが・・・。



水面側から陸側へ
オオバナ ⇒ ナガエ（小さな白い花）
⇒ オオバナ ⇒ ヒメガマ

⑫ 船戸の森地先



ここはオオバナが優勢。ここの黄緑色
はオオバナのように見える。



オオバナのお花畑！



⑬ ハーベスター刈り取り試験場所（大堀川河口部の北側）

<2020 年 6 月 30 日>



ヨシ帯の中に入り込んでいるナガエ・オオバナも、人力で丁寧に抜き取ったのに・・・。

<2020 年 8 月 5 日>



1 か月後には漂着したと思われるオオバナ・ナガエが、すでに新しい群落を作り始めていた。ああ・・・。

⑭ 北千葉第二機場前



北岸への供給源はここかもしれない。群落がちぎれて流出し、南系の風に乗って対岸に漂着するという可能性がある。

⑮ 手賀大橋下流部南岸



下沼南岸のヨシの根元のナガエ群落は、じわじわと生長しているようだ。まだオオバナはさほど目立たない。

⑩ 元ハス帯



元ハス帯。今はただの開水面。
遠くに手賀沼温泉を望む。

⑪ 元ハス帯の西側



ヨシ帯の中に辛うじてハスが残っている。



その前面は、ナガエ+オオバナ。
オオバナは水面にも拡がっている

⑫ 下沼の北岸（我孫子市鳥の博物館地先）



ヨシ帯の前面にナガエ・オオバナ帯がしっかり
形成されている。
この地先水面にあったヒメガマ群落が、ハスと
同じ 2019 年ごろに消滅してしまった。